

今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめ（案）に関する意見

①氏名 (フリガナ)	山西克明 ヤマニシカツアキ				
②住所	(都道府県名) 香川県	(市区町村以下)			
③電話番号	0879-82-4634	メールアドレス			
④職業		⑤年齢		⑥性別	
意見該当箇所	⑦意見				
頁	行	(200字を超える場合は200字以内の要旨も記載)			
		<p>意見 まとめ 「新内海ダム事業は計画時点からの徹底的な再検討を要する」</p> <p>新内海ダム計画ほど現実離れしたケースは全国でも数少ないのではないか。住民への現内海ダム修繕計画の説明がいつの間にか巨大ダム計画に変更され、官民自治体が一体となって偽りの必要性を創り出し、町議会から県議会を通じ国へ申請され、国もほとんど精緻な現地調査を実施せず、書類のみでいきなり事業認定が下されて、現在では11月22日を明渡し期日とした収用裁決がなされた。重要な事実を隠蔽してまでの収用裁決、人権無視もはなはだしい。</p> <p>一般人の「行政がすることには不正や誤りなからう」とする善意の陰で、事実を歪曲することを常とし、国立公園寒霞溪の景観への配慮は不十分なまま、本体工事に取り掛かっている。</p> <p>香川県から提出された事業認定申請書類を問題あり、として当初から現地にて貴会議が独自に調査していただければ、この計画が不要であり、欺瞞に満ちたものであることが明白になることです。</p> <p>「有識者会議の本質見たり。原点を見ずして結論から判断し、その中身は空白なり」と世間で言われぬよう、ご忠告です。</p> <p>新内海ダムは根も葉もないものが、欲望の強い者たちのため強引に進行しているのを憂う、多くの者の一人であります。</p>			